【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第７区分
【発行日】平成19年9月13日(2007.9.13)

【公表番号】特表2007-510602(P2007-510602A)
【公表日】平成19年4月26日(2007.4.26)
【年通号数】公開・登録公報2007-016
【出願番号】特願2006-537332(P2006-537332)
【国際特許分類】
***Ｂ６６Ｂ　23/08　(2006.01)***
***Ｂ６６Ｂ　23/12　(2006.01)***
***Ｂ６６Ｂ　29/08　(2006.01)***
【ＦＩ】
Ｂ６６Ｂ　23/08
Ｂ６６Ｂ　23/12　Ｆ
Ｂ６６Ｂ　23/12　Ｇ
Ｂ６６Ｂ　29/08　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成19年7月27日(2007.7.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
車輪上を移動するパレットが、移動する軌道の一部を成し、該パレットは少なくともパレット本体および表面部品から構成され、該パレット本体は、形材棒状物から作られる所定の寸法の構体であり、該本体には、磨耗面を形成する１つ以上の表面板が設けられた、動く歩道もしくは同等のもののパレット装置において、前記本体には、その両端部に取り付けられた車輪が設けられ、少なくとも一方の端部において、望ましくはいずれかの端部において、該パレットの端部に取り付けた車輪間に、該パレットをエンドレスコグドベルト、チェーン、または同等の作動手段へ連結する固定用要素が設けられていることを特徴とするパレット装置。
【請求項２】
請求項１に記載のパレット装置において、前記パレットの本体は、押出し成型アルミニウムまたは他の適切な金属もしくは合金から所定の寸法に切り出された構体であることを特徴とするパレット装置。
【請求項３】
請求項１または２に記載のパレット装置において、前記パレットの本体は、少なくとも２つの押出し部品から構成され、該部品は、互いに結合され、前記動く歩道の長手方向に交互に配置されていることを特徴とするパレット装置。
【請求項４】
請求項１、２または３に記載のパレット装置において、磨耗面を形成する前記表面板は、プラスチックもしくは同様の材料から押出しによって作られる実質的に同一寸法の表面板であることを特徴とするパレット装置。
【請求項５】
請求項１から４までのいずれかに記載のパレット装置において、前記表面板の下部に継手要素を設け、これに対応して、前記本体の上部に対応部品を設け、該部品に対して前記

継手要素を、形状固定継手によって固定することができることを特徴とするパレット装置。

【請求項６】

請求項１から５までのいずれかに記載のパレット装置において、前記表面板は、互いに異なる色であり、該表面板のうちのいくつかは、半透明もしくは透明であることを特徴とするパレット装置。

【請求項７】

請求項１から６までのいずれかに記載のパレット装置において、紙、プラスチックまたは同等のものに印刷されて外観を変える通知、広告または他の要素が、前記半透明もしくは透明の表面板と、前記パレット本体との間に取り付けられていることを特徴とするパレット装置。

【請求項８】

請求項１から７までのいずれかに記載のパレット装置において、該装置は、照明機器を含み、該機器は、前記半透明もしくは透明の表面板の下に設けられ、該表面板と前記パレット本体との間に配されて外観を変える通知、広告、もしくは他の要素を下から照明するように取り付けられていることを特徴とするパレット装置。

【請求項９】

請求項１から８までのいずれかに記載のパレット装置において、前記表面板に、それぞれの縁端部へ固定されたシール材を設けて、連続するパレット間の隙間をふさぐことを特徴とするパレット装置。

【請求項１０】

請求項１から９までのいずれかに記載のパレット装置において、前記表面板のうちの少なくともいくつかは、その上面が、望ましくはその構体全体が、アルミニウムもしくは同様の材料であることを特徴とするパレット装置。